

# 芸術文化活動の支援と 拠点整備プロジェクト



～みんなの大切な場所を  
これからも、ずっと、もっと♪～

宮古市企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト



## (プロジェクトの概要)

宮古市民文化会館は、昭和51年(1976年)11月3日に開館し、2026年に竣工50周年を迎える、宮古市の芸術文化振興の拠点施設です。

2011年の東日本大震災では1階部分を中心に甚大な被害を受けましたが、日本全国からの応援により復旧し、開館以来、「芸術文化を鑑賞する場」、「市民が創作・表現する場」として、多くの人々に夢と感動をお届けしてきました。

市民の芸術文化活動を支援し、優れた芸術に触れる機会を提供することで、「心の豊かさ」につなげていくことも、市民文化会館の大きな役割です。

その代表的な取り組みが「宮古市民劇」です。市民が自ら企画・制作し、舞台に立つ参加型の文化活動で、創り上げる喜びや感動を分かち合いながら、市民の絆を育む場となっています。“宮古”の歴史文化をテーマにした作品づくりを通して、地元への愛着や誇りを次世代へ継承する活動ともいえます。

市民に愛され、文化活動を支えてきた市民文化会館が、これからも芸術文化振興の拠点としての役割を果たし続けられるよう、より安全で快適な施設環境の整備と、多様な芸術文化活動の支援を進めていきます。



文化会館大ホール入口



舞台の様子 (宮古市民劇)



佐渡裕 & スーパーキッズオーケストラ

## (事業の具体的な内容)

### ♪市民文化会館の改修工事

大ホールの舞台幕地にカビが発生していることから、幕地を一式更新します。また、経年劣化が見られる緞帳の裏地やチチ紐、下パイプ袋を交換し、安全を確保します。このほか、老朽化の進む文化会館の改修・修繕に対応し、これからも安全で良好な環境維持に努めます。

### ♪芸術文化団体への支援

宮古市民劇や市民文化祭、みやこ郷土芸能祭など、発表の機会を提供することにより、その活動を支援し、人材育成につなげます。

### ♪子ども育成の団体鑑賞

小学校から高校生までの全児童生徒に、音楽や演劇、伝統芸能など優れた芸術の鑑賞機会を提供します。

### ♪kadatte音楽クラブへの支援

学校部活動の枠をこえた、吹奏楽の地域クラブが誕生しました。大会参加や楽器の修理・購入など活動費用を支援していきます。



文化会館大ホール ステージと客席



文化会館大ホール 緞帳と客席

(事業費)

6,200万円

(寄附目標額)

3,000万円

(企業の皆様へのメッセージ)

令和8年11月で竣工から50年を迎える宮古市民文化会館は、芸術文化を愛する宮古市民にとって、なくてはならない、とても大切な場所です。また、市民劇や市民文化祭をはじめ、市民による様々な芸術活動の拠点であり、たくさんの方が集まる、思い出の場でもあります。

これからも、ずっと、もっと、ここ宮古市民文化会館で、次世代を担う宮古の子どもたちが、豊かな心・感性・想像力を育むことができるよう、市民のみなさんが、充実した様々な文化活動に触れられるよう、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。